

本日の出席委員は11名で、寒川町地域公共交通会議設置要綱第6条の規定により、半数以上の委員が出席されておりますので、本日の会議の成立要件を満たしておりますので、ご報告いたします。

なお、自治会からの和田委員ですが、体調不良により急遽欠席という連絡がございましたので、ご報告させていただきます。

また、本日の傍聴者は1名ですので、よろしく願いいたします。

2. 議題

【事務局】 それでは、議題に入らせていただきます。

岡村会長、よろしく願いいたします。

【会長】 それでは早速、次第に従いまして進めてまいります。2、議題1、「もくせい号」等の利用実績報告について、ご説明をよろしくお願ひします。

【事務局】 議題の説明に入る前に、資料の確認をさせていただきます。

本日の資料といたしましては、本日の会議次第が1枚、委員名簿が1枚、寒川町地域公共交通会議設置要綱、両面印刷のものが1枚、右上に資料1と書かれたもので、18ページ両面印刷のものが1部、そしてA4の横の印刷で、カラー両面の資料2が1枚、右上に資料3と書かれた、カラーA4のものが1枚、それとコミュニティバスのパンフレット、時刻表と寒川駅海老名駅間路線バスの時刻表、また、資料とは別に委員改選に係る依頼書と承諾書をお手元に配布してございます。

配付漏れはありませんでしょうか。

それでは、議題に移らせていただきます。

議題1、寒川町コミュニティバス「もくせい号」等の利用実績報告について、各ルート別に、利用状況をご報告いたします。

資料1をご覧ください。まずは、倉見大村ルートから報告させていただきます。

1ページ目は、平成28年度と平成29年度の1月までの利用者数等の累計です。平成29年度の1便平均といたしましては、全日で5.78人、平日で6.50人、土休日で4.27人となっております。平成28年度の利用者数と比較しますと、平成28年度的全日は5.23人、平日、5.84人、土休日、3.96人となっており、全日、平日、土休日、すべてにおいて、平成29年度は利用者数が増加しております。

下のグラフをご覧ください。こちらは、平成29年度の1便当たりの月別利用者数になります。一番上の線が平日、真ん中が全日、下が土休

日になります。全日と平日はほぼ横ばいで、土休日については11月、12月と利用者数が増えています。11月は産業まつりがあったため、12月は年末に向けての買い物利用が多かったためではないかと考えます。

乗りこぼしにつきましては、増便したことにより、平成28年度当初よりは、若干ではありますが、解消されておりましたが、平成29年度は利用者数の増もあり、乗りこぼしの回数は多くなっております。乗りこぼしの多い月で、5月、8月、11月とございますが、5月の乗りこぼしの多くは、平日の2便に集中しており、朝から買い物に行かれる方が多かったと思われます。8月は夏休み期間のため、全体的に利用者数が多かったため、乗りこぼしも全部で12回ございましたが、そのうち2便と6便に集中しており、2便と6便だけで、合わせて10回の乗りこぼしがございました。11月は、11月19日に産業まつりがあり、その日だけで3回の乗りこぼしがあり、多くの方がわいわい市前で降車していることから、産業まつりへの来場に、公共交通を利用していただいていると考えられます。

乗りこぼしの対応といたしましては、運転手からの連絡により、乗りこぼしのあったバス停にすぐに続行便を向かわせ、コミュニティバスに続く形でルートを運行しており、利用者の方々の理解もあり、苦情やトラブル等はございません。

しかし、今後も利用者数が増加していった場合に、さらに乗りこぼしが増える状況が予想されます。現在は10人乗り、定員8名の車両を使用しておりますが、今後の対応策としては、14人乗り、定員12名のハイエースを検討しており、関東運輸局神奈川運輸支局にもご相談に伺わせていただいております。

なお、現在の車両は5年償却のうち4年目の償却を終える状況ではございますが、5年目以降も車両の状態を考慮し、更新のタイミングをはかりつつ、使用していきたいと考えております。

2ページ目をご覧ください。こちらは、全日の時間帯別利用状況です。

下のグラフをご覧ください。先ほどの乗りこぼしでも説明したとおり、2便、5便、6便の利用が多い状況です。

次に、3ページ目をご覧ください。こちらは、平日の時間帯別利用状況です。やはり2便、5便、6便が多い状況で、定員8人に対し、1便平均乗車人数が、2便では9.4人、5便では8.7人、6便では9.7人となっており、こちらの利用状況も、新たな車両の導入の判断材料として、今後も注意していきます。

4 ページ目をご覧ください。こちらは、土休日の時間帯別利用状況です。下のグラフを見ますと、朝から徐々に利用が増え、お昼どきの利用が一番多く、夕方に行くにつれて徐々に利用が減少していております。

次に、5 ページ目、6 ページ目をあわせてご覧ください。こちらは、全日のバス停別利用者数の集計で、5 ページ目が乗車人数、6 ページ目が降車人数となっております。

5 ページ目の乗車のグラフをご覧ください。寒川駅以外では、浮谷、倉見大村地域集会所前、谷原第一での乗車が多い状況で、これらの周辺は住宅が多くあるのが理由だと思われます。

6 ページ目の降車のグラフをご覧ください。寒川駅以外では、浮谷、倉見駅前、わいわい市前の降車が多い状況で、倉見駅は鉄道利用、わいわい市前は買い物利用のために降車される方が多くいると思われます。

続きまして、南ルートについてのご報告をさせていただきます。このルートは、倉見大村ルートと同じく、8 人乗りの小型車両で運行しております。

7 ページ目をご覧ください。平成 29 年度の 1 便平均としましては、全日で 2.76 人、平日、3.17 人、土休日、1.87 人となっており、平成 28 年度の利用者数と比較しますと、平成 28 年度の全日は 2.69 人、平日、3.14 人、土休日、1.75 人となっており、全日、平日、土休日のすべてにおいて利用者数が増加しております。

下のグラフをご覧ください。平成 29 年度の月別利用者数としましては、7 月、8 月、9 月の夏の利用と 12 月の利用が増えており、12 月の利用の増加については、倉見大村ルートと同様、年末の買い物に向けての利用者数が増加したと考えます。

次に、8 ページをご覧ください。こちらは、全日の時間帯別利用状況です。下のグラフは平成 29 年度のもので、グラフを見ると、2 便目の利用が多い状況ですが、その他の便についてはほぼ差はない状況です。

次に、9 ページをご覧ください。こちらは、平日の時間帯別利用状況です。平成 28 年度の 1 便平均乗車人数と比べると、1 便、2 便は若干減っており、3 便、4 便は若干増えている状況です。

10 ページ目をご覧ください。こちらは、土休日の時間帯別利用状況です。平成 28 年度の 1 便平均乗車人数と比べると、3 便を除き利用が増えており、全体の平均では 0.1 人、利用者数が増加しております。

次に、11 ページ、12 ページをあわせてご覧ください。全日のバス停別乗車割合は、寒川駅以外では、乗車は、西一之宮、笠谷入口、鷹匠

橋の利用が多く、西一之宮の前にはマンションが、笠谷入口の北側には住宅地があることが理由と考えられます。降車は、西一之宮、笠谷入口、鷹匠橋、寒川駅南口の利用が多い状況で、鷹匠橋も同様に、近くにマンションと住宅がございます。

続きまして、東ルートについてご報告させていただきます。このルートは、34人乗り小型低床バスで運行しております。

13ページ目をご覧ください。平成29年度の1便平均としましては、全日、9.47人、平日で10.76人、土休日、6.73人となっております。平成28年度の利用者数と比較しますと、平成28年度は、全日で9.64人、平日で11人、土休日で6.79人となっており、全日、平日、土休日のいずれも減っている状況です。

下のグラフをご覧ください。平成29年度の月別利用者数としましては、平日、土休日で若干の増減はあるものの、全日の1便平均を見ますと、ほぼ横ばいとなっております。また、東ルートも他のルートと同様に、12月の利用が増加しております。

次に、14ページ目をご覧ください。全日の時間帯別利用者数状況としましては、朝の3便、昼の5便の利用が多い状況です。

15ページ目をご覧ください。こちらは、平日の時間帯別利用状況で、全日と同様、朝の3便目、昼の5便目の利用が多い状況です。

16ページをご覧ください。こちらは、土休日の時間帯別利用状況です。全体的に平日の利用状況の3分の2程度の利用にとどまっております。

次に、17ページ、18ページをあわせてご覧ください。全日のバス停別乗車、降車割合は、寒川駅以外では、乗車、降車ともに越公園前、県営住宅東の利用が多く、越公園前のバス停も県営住宅の中にあるため、これらの利用が多い状況です。それ以外は、全体的に広く分散している形となっております。

倉見大村ルートの南ルート、東ルートを総合的に見ますと、いずれも利用の多い便は9時前後からお昼どきにかけての日中に多く見られるため、買い物や通院などへ行くために多く利用されていると考えられます。

課題といたしましては、全体の利用客は増加傾向にあるものの、土休日の利用者数がいまだ少なく、利用促進策として、広報やホームページ等に乗継券や相模線との乗り継ぎ時刻、また、公園や神社への交通手段としてコミュニティバスが活用できる旨の案内を行ってまいりまして、現在はまだまだあまり結果に結びついてはいない状況でございますが、すぐ

に結果が出るものではございませんので、引き続き継続して町内外の方々に寒川町のコミュニティバスについて広報、周知してまいりたいと考えております。

以上で、コミュニティバス「もくせい号」の利用実績報告を終わります。

続きまして、資料のご用意はございませんが、寒川駅海老名駅間の路線バスについて、簡単ではございますがご報告させていただきます。

こちらの路線は、神奈川中央交通と相鉄バスの共同運行で、平成26年10月より実証運行を開始しており、今年度、平成29年4月より本格運行に移行いたしました。

実証運行中は、利用者数を神奈川中央交通及び相鉄バスからご報告いただいておりますが、本格運行への移行に伴い、通常の路線バスと同様となるため、今年度4月より利用者数の報告は終了となり、現在は四半期ごとの運賃の実績報告にて、利用状況を把握しております。

実績報告によりますと、現在ご報告いただいている平成29年度4月から平成29年度12月の対前年で、0.81パーセントの増となっております。ご参考までに申し上げますと、実証運行開始当初の平成26年度から平成28年度の1便あたり平均の対前年の伸び率は、平成27年度で24.52パーセントの増、平成28年度は7.68パーセントの増となっており、これらと比べると、今年度は微増となっております。

本路線につきましては、今年度、平成29年度より、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金を活用し運行しておりますが、町も補助金を支出している状況でございます。

実証運行時から継続して、寒川町、海老名市、神奈川中央交通、相鉄バスの4者で定期的に会議を行っており、現在も利用促進策について検討を行っている状況ではございますが、引き続き利用促進に取り組み、生活交通の確保維持等に努めてまいります。

以上で、寒川駅海老名駅間路線バスについての報告を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

【会長】 それでは、今の2点のご報告につきまして、何かご発言はございますでしょうか。

お願いします。

【委員】 茅ヶ崎署の交通課長の牧野でございます。

資料の作成の仕方なのですが、28年度が3月まで統計をとっておられて、29年が、開催の時期があると思うので1月までなんです、これは比べられないと思いますので、1月で切っていただいて、そこで出

してもらって、2月、3月はまた別に出していただいたほうが、はっきりよくわかるのではないのかなと思いましたが、一応参考なので、お願いします。

【事務局】 ご意見ありがとうございます。今後の会議資料の作成方法については、検討させていただきます。ありがとうございます。

【会長】 結構2月、3月の利用者は多い。

【委員】 多いです。

【会長】 多い、少ないとかいろいろあるので、ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。おおむね順調な数値、特に倉見大村については増えているのかなということでしょうか。ほかはいかがでしょうか。

お願いします。

【委員】 倉見大村ルートで、11月に産業まつりがあったので利用が多かったということがありましたけれども、これは統計上、結構数字がずれるくらいの利用が当日にありましたか。おそらく平均が動くような利用があったと思うので、当日のおおよその利用数というのは、どれくらいまでいきましたか。

【会長】 出るなら、1日平均70とか、六十何人とかいう数字は出ているのですが、九十、百とか、そこまではさすがにいかないかな。何か出そうですか。

【事務局】 細かい数字は用意していませんでしたが、基本的に土日は平日の6割ぐらいの比率ですが、例年産業まつりについてはほぼ平日と同じぐらいの人数の利用があります。

【会長】 それは確かに多いです。ほかはいかがでしょうか。海老名、寒川間の件も、何かご発言はありますか。よろしいですか。

先ほど今後というので、車両について検討を始めるということですが、基本的には当面これで定着を図っていくということですのでよろしいですね。ありがとうございます。

ほかはいかがですか。特によろしいですか。

それでは、また何かお気づきのところがありましたら、お願いをいたします。それでは、2に移ってよろしいですか。

それでは、車両更新についてお願いします。

【事務局】 それでは、議題の2)寒川町コミュニティバス「もくせい号」東ルートの車両更新についてご説明させていただきます。

資料2をご覧ください。前回の第1回地域公共交通会議の中でのご説

明から協議を進めてまいり、あくまで現段階では予定ということですが、
けれども、新たな車両の車種やサイズ等について案がまとまりましたので、
ご報告させていただきます。

こちらの資料2のものが、現在考えているイメージで、車種は日野の
ポンチョ、サイズはロングのツードアとなります。表面がエクステリア
イメージ、外観となりまして、裏面のものがインテリアイメージ、こちら
が内装となります。

これらのデザインにつきましては、広報戦略課と連携をとりまして、
現在広報戦略課で行っている寒川町のブランディング、こちらの一環と
して取り組んだもので、イメージとしてはJR九州のクルーズトレイン
ななつ星、このようなイメージとなっております。外装の色は、寒川町
のメインブランドカラーのブラウンで、車体横中央にはメインブランド
マークを施す予定でございます。内装は、通常この車両のシートは青色
ですが、外装と調和がとれるように、シートの色も今回赤色に変更を
する予定でございます。

こちらの新たな車両につきましては、平成30年度から運行できるように、
東ルートの運行業務委託業者である神奈川中央交通株式会社と現在調整
を進めている段階でございますので、よろしく願いいたします。

以上で、寒川町コミュニティバス「もくせい号」東ルート車両更新に
ついてのご説明を終わります。よろしく願いいたします。

【会長】　　こういうことですが、事業者さんから補足とかがあ
りましたらお願いします。

【委員】　　使用車両のほうのうち2台を代替の予定で、現在、メーカ
ーのほうと購入の手続きを行っているところでございます。

【会長】　　いかがでしょうか。では、お願いします。

【委員】　　ちょっと申しわけないですが、現行の車両と座席人
数の変更という意味では、サイズが変わるとか、ルートの問題がない
とか、その辺は、クリアは確認済みということでよろしいでしょうか。

【事務局】　　そうですね。車両のサイズ的には、現行の三菱エアロミ
ディとほぼ一緒です。座席数については、シート数が少し減るのですが、
最大の乗車人数はほぼ変わらないです。シート数が減る分、スペースが
できて乗り降りしやすいとか、そういったメリットがあります。

【委員】　　ありがとうございます。

【会長】　　ほかはいかがでしょう。大体よろしいですか。ありが
とうございます。

それでは、3番目、行政連携についてということで、これは特に資料はないですね。ご説明よろしく申し上げます。

【事務局】 議題3、2市1町公共交通の行政連携についてということで、本日資料の用意がございませんが、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で組織しております。湘南広域都市行政協議会の公共交通の行政連携検討分科会で検討しています内容につきまして、現況を報告させていただきます。

現在、この分科会では、寒川駅と湘南台駅を結ぶ新たなバス路線の導入に向け、検討しております。前回の会議でも報告させていただきましたが、運行ルートにつきましては、文教大学や湘南ライフタウンを經由するルートで検討しております。

検討当初から、路線再編が見込まれる湘南ライフタウンバスターミナルの整備など、周辺環境整備に合わせて運行開始できるよう検討してまいりましたが、文教大学の学部一部移転や、運転手不足等解決していくべき課題があることから、それらの課題等を含め、今後も交通事業者と連携して検討してまいりたいと考えております。

この案件につきましては、今後も公共交通会議で随時報告させていただきます。

以上で、2市1町公共交通の行政連携についての報告を終わります。

【会長】 ということで、今後も継続という話でございますが、何かありますか。

【事務局】 補足なんですけれども、当初このライフタウンの整備が、今年の3月末に終了するというので、その工期は順調に進んでいるという報告は受けているんですが、そのタイミングに合わせて、新しく寒川駅の北口から湘南台のルートをとということで検討はしていたんですけども、先ほど説明にあった課題が出てきまして、ちょっとそのタイミングでは実現は難しいという状況でございます。

ただし、2市1町では引き続きこのルートの実現に向けて、神奈中さんと検討を進めていきたいと考えてございます。

以上でございます。

【会長】 ありがとうございます。

これについてもぜひご報告をと思いますが、これについて何かございますか。特によろしいですか。ありがとうございます。

それでは、4、来年度以降の検討事項（案）につきまして、ご説明をお願いします。

【事務局】 それでは、議題4）来年度以降の検討事項（案）につい

てご説明いたします。

資料の3をごらんください。寒川町では、鉄道のほかコミュニティバス3ルートと、寒川駅海老名駅間の路線バスと、その他の路線バスが運行している状況で、資料3のような交通網となっております。

これから高齢化社会がより一層進む中で、町民の皆様から公共交通に対するニーズがより高まる状況の中、資料の右上の丸で囲った小動地域というところなのですけれども、こちらの地域に住まわれている町民の方から、この小動地域の特に北側に住んでいる方は、一番近くのバス停である、コミュニティバス東ルートの小動神社前までおおよそ700メートルほどの距離があり、高齢者にとってはバス停まで歩くことが困難で、公共交通を利用したくてもできないため、コミュニティバスを小動地区の北部まで通してほしいとの要望が、町長への手紙等の制度を通じてございました。

このことについて、町としても検討すべき事項と考え、現在検討を進めている状況でございます。つきましては、来年度以降の地域公共交通会議の案件として皆様にご審議いただく可能性がございますので、よろしく願いいたします。

以上で、来年度以降の検討事項(案)についてのご説明を終わります。よろしくお願ひします。

【会長】 ありがとうございます。

こちらについて、まだこれからということではありますけれども、何かございますでしょうか。

お願ひします。

【委員】 先ほどご提案のありました、小動の北部地区なのですけれども、課長はご存じだと思ひのですが、第3期運行のころまで、実は一回通っていた時期がございまして、もともとこの地域というのは、ここ最近の宅地開発で住宅等は少しずつ増えてきたりはしてあります。

あと、もともと道路網も手薄なところということで、なかなか通しづらいところもありまして、一応過去に通っていた実績がございまして、そのあたりも、過去の実績の資料等を検討しながら慎重に進めていただければと思ひます。

また、この交通会議の第1期のころですかね、藤沢市さんから依頼があつて、湘南台から慶応大で、宮原地区を通過して綾瀬車庫に行く路線ができてまして、そっちのほうの路線のほうは、実は一部地域によっては近いということもありまして、そのあたりの関係もございまして、この会議の第2期の中では取り扱えないことだと思ひますけれども、第3期

の皆様にご提案する際には、そのあたりの関係等も。

また、こちらは先ほど2市1町の絡みには絡めないところ、茅ヶ崎市が入っておりませんので、また別の案件となってしまいますので、またその辺のこともご配慮していただいた上でご検討をお願いしたいと思います。

【会長】 ありがとうございます。

ちなみに、この地区だと湘南台に行くバス停は、市の境を越えると、700メートルよりは近いぐらいではあるような場所ではありますが、寒川町側のほうに行く足が欲しいとか、そういうご支持のご意見というか、これはそういうことでしょうかね。

【事務局】 そうですね。おそらく寒川駅に向かいたいという要望で、駅付近の買い物ですとか銀行ですとか、そういったところに行くための足が欲しいというご要望ということが多いと思います。

【会長】 ありがとうございます。

ほか、こちらいかがでしょうか。

では、これはまた来年度の中でご検討。事務局でもんでいただいて、こっち側に検討状況などをご報告いただければと思います。

【事務局】 はい。

【事務局】 ご意見、ありがとうございます。

委員がおっしゃったとおり、過去、平成21年まで、そこも減便した形で通していたという経緯がございます。

ただ、そこから約10年たっていますので、また高齢化も進んでいるというところもございますので、またその辺はご提案を、今後検討してさせていただきますけど、最初からいきなり本格運行というか、フルスペックで運行するという形もあろうかと思えますけど、例えば、実験的に、何か月間で何人乗らなかつたらとか、そういう条件をつけるやり方もあろうかと思えますので、そういうことをこの会議の中で、いろいろご提案というかアドバイスをいただければと思っております。よろしくお願いたします。

【会長】 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

【委員】 意見をよろしいでしょうか。

【会長】 はい、お願いします。

【委員】 このバスの倉見大村ルートと南ルートを運行している香川第一交通として、1月の年始の渋滞がありまして、そちらのことをご報告させてもらいたいと思うのですけれども、毎年寒川神社の参拝客の方

が多くいらしてしまして、その周辺の道路渋滞が激しいことになっているわけです。今年の1月は、例年以上に渋滞が激しくあったわけなのですけれども、年が明けて4日からスタートするわけなのですが、最初の週と2週目が特に厳しくて、その先の週は、土日を中心に渋滞によくなっています。

1便のかかった時間としては、倉見大村ルートは通常35分で回っているのですけれども、一番長くかかったときが、2時間25分です。南ルートでも、1時間。南ルートは25分で回るところなのですけれども、最大で1時間4分という日がありました。

この運行は、1日2名の者で回っているのですけれども、次の便が遅れそうだということで、本来であればその時間には稼働しないものも、繰り上げてスタートをさせたり、あるいは予備車を使って3台目の車両を使ってということで、振りかえのあった回数が、1日で8回あった日が最大です。

それから、寒川駅から発車するわけなのですけれども、スタートが10分以上遅れた便というの、2便遅れた日から最大で13便遅れた日があるという状況であります。

こういったことから、このままの状態が続けていくのはいいのかなというところは、皆様でお考えいただいて、対策を練っていただければありがたいなと考えています。

【会長】 ありがとうございます。

事務局から、ありますか。

【事務局】 1月は神社の参拝客の影響による渋滞でバスの遅延が多く発生しておりますが、普段乗られる方は、そこら辺はご理解いただいて、余裕を持って乗っていらっしゃる方が多いと思います。特に、苦情とかお問い合わせはないのですが、この2時間ですとか1時間遅れていることについては、例えば、その時期だけ迂回ですとか、路線変更ですとか、そこも検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【会長】 もし次のお正月ということになると、もうそろそろいろいろ検討しなきゃいけないかもしれませんので、そこはぜひ検討していただければ。

【事務局】 実際、海老名寒川線、先ほどご報告させていただいた寒川駅から海老名駅路線は、お正月の間、1月の頭から1月の終わりですね、二十何日のところまで、寒川神社の中は通らず、迂回のルートを設定している状況がございます。ですので、今後、来年のお正月に向け、

今、コミバスについては神奈中さんから香川さんから、バス停ごとの利用者、その辺も全部報告をいただいております。ですので、今回の倉見大村の、例えば迂回をしたときに飛ばすバス停ですとか、逆に臨時で設けるバス停、あろうかと思うんですけど、その辺の利用者の確認をして、来年度の交通会議のほうに提案というか、迂回のほうも検討し、提案していきたいと考えます。よろしくをお願いします。

【会長】 ありがとうございます。

そのほか。議題で、今、1から4までいきましたが、それ以外に何かご発言ございますか。

【委員】 補足で。年末年始の渋滞の件に関しては、私も町内に住んでいるので、仕事でうっかり神社に突っ込んで、渋滞にはまっちゃってということはたまに経験があるわけなのですが、コミュニティバスの話中心になると思いますが、ほかのバス路線のことも、やはり渋滞が伸びると産業道路の一般路線、特に神奈中さんの路線とかですね、こちら結構渋滞……こちら三が日も通常に動いていますので、やはり交通とかの、また、圏央道が開通して交通事情も変わって、車で来るお客さんも増えて、参拝客の方も相当増えているようで、今年、産道のものは入場規制が、神奈中さんの年末年始の臨時バスの折り返し場まで伸びてしまって、バスの運行に支障が出るようなレベルまで。参拝客も入場規制もあつたりしたようなので、そろそろこのあたりは、交通会議だけではなくて全庁的な取り組みとして、また。寒川には皆さん来ていただいた上で、気持ちよく寒川に来てもらって、お金を落としてもらって、寒川はよかったよと思えるような。そしてまたもっと寒川に来てみたい、そんなことになるように、地域を挙げて、関係の皆様のお力もお借りしてやっていければいいなと思いますので、ぜひともそのあたりは、事務局の皆様には大変労力になってしまうと思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【会長】 ありがとうございます。よろしくご検討いただければと思いますので。

ほか、この2の議題が終わりましたが、何かございますか。特によろしいですか。

では、そうしましたら、3のその他、委員改選につきまして、事務局からお願いします。

【事務局】 今年度末の任期満了に伴います、寒川町地域公共交通会議委員の推薦について説明させていただきます。

任期を終える皆様におかれましては、2年間寒川町の公共交通につき

ましてご指導いただき、まことにありがとうございました。そこで、来年度の4月から、改めて委員の推薦をいただきたいと思います。本日、推薦依頼書と承諾書をお配りしておりますので、後日承諾書にご記入の上、提出をお願いいたします。

提出方法につきましては、郵送やファックス、あるいは窓口を持っていただくと、特に指定はございませんので、よろしくお願いいたします。

なお、この推薦依頼書につきましては、本日既にお渡しはしているところなのですが、ご所属の団体宛てに直接郵送をご希望の方につきましては、別途対応させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【会長】 そうしますと、次第に書いたものについては終わりましたが、事務局からあと何かございますか。

【事務局】 はい。今後の予定でございますが、本日の議題にもございましたとおり、小動地区、こちらの要望に対する検討です。それと、先ほどお話にありました、寒川神社、お正月の渋滞の関係です。そういうものを、引き続き検討していきたいと考えてございます。委員皆様からのご意見等をいただきながら、公共交通の充実につきまして、検討を進めてまいりたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。

また、本日報告させていただきました、行政の広域連携での取り組み、こちらは公共交通案件ではございませんけれども、引き続き、海老名寒川路線とあわせてこの交通会議のほうで報告をさせていただきたいと考えてございますので、よろしくお願いいたします。

【会長】 そうしますと、一通り議事が終了しましたので、あとは事務局で進行をお願いいたします。

4. 閉会

【事務局】 はい。本日はお忙しいところ、まことにありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、2年間ほんとうにありがとうございました。本会議につきましては、発足してから4年がたちました。当初からお世話になっております委員の皆様もいらっしゃいます。今後も引き続き寒川町の公共交通につきまして、ご意見等をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、今回公募の委員の千葉委員におかれましては、町の公募委員の規定により、3期連続というのができない規程となっておりまして、

	<p>この2期で終わりということで、今日もなのですけれども、千葉委員にはいろいろと貴重な意見を4年間いただきまして、また引き続き違ったところ、窓口にもよく来ていただくのですけれども、引き続きお願いしたいなと思ってございますので、4年間、千葉委員、どうもありがとうございました。</p> <p>【事務局】 次回の開催につきましては、岡村会長と調整の上、また通知をさせていただきますので、ご出席につきましてご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>お忙しい中、本日はどうもありがとうございました。これをもちまして平成29年度第2回寒川町地域公共交通会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 当会議設置要綱 ・ 資料1 寒川町コミュニティバス「もくせい号」等の 利用者数等累計 ・ 資料2 寒川駅コミュニティバス「もくせい号」東ルート 車両（小型低床バス）の更新 ・ 資料3 来年度以降の検討事項（案）について ・ コミュニティバス「もくせい号」のパンフレット ・ 寒川駅海老名駅間路線バスの運行利用案内パンフレット